



皆さん、成人おめでとうございます。

今日、こうして皆さんが新たな節目を迎えられたことを、心から嬉しく、そして誇らしく思います。中学校で過ごした日々、そしてその後の高校生活や日常の中には、思い描いていたような経験ができなかつたことも多かったでしょう。

コロナ禍という未曾有の状況の中で、登校できない時期もありました。部活動や学校行事、友人との語らいなど、あたりまえだったはずの時間が制限され、悔しい思いをしたこと也有ったと思います。けれど、そんな中でも皆さんは工夫し、支え合い、前を向いて歩んでいました。その姿は私にとっても大きな励ました。できなかつたことの数だけ、皆さんは「できるようになったこと」も増えたはずです。我慢する力、思いやる力、そして不確かな未来に向かって進む勇気。それらは、これから的人生において、何よりも大切な力になります。

成人とは、自分の人生を自分で選び、責任を持って歩んでいくこと。それは決して簡単なことではありません。けれど、皆さんには、あの困難な時期を乗り越えた経験があります。その経験こそが、皆さんの強さの証です。これから先、皆さんの道はそれぞれ違う方向へと広がっていくでしょう。でも、どんな道を選んでも、そこに意味があり、価値があります。どうか、自分の歩みを誇りに思い、時には立ち止まりながらも、しっかりと前を向いて進んでください。

からの皆さん的人生が、豊で実り多いものになりますように。いつまでも皆さんを応援しています。

柳田 明日香（当時 財光寺中学校勤務）

二十歳を迎えた皆さんへ

これから人生の新たなステージへと登る皆さん、本当におめでとうございます！

財光寺中学校で皆さんと授業や行事、部活に励んだ日々が懐かしく思い出されます。合唱コンクールの一生懸命な姿や歌声は、今も心に残っています。

勉学に仕事に、それぞれの場で活躍されていること思います。からの皆さん的人生に、幸多かれと祈ります。

宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校
教諭 渡邊 祥吾

（財光寺中学校 元1-3、2-1担任・音楽・吹奏楽部顧問）

新成人の皆さん、ご成人おめでとうございます。

財光寺中学校を卒業して5年が過ぎました。時の流れの早さに驚くばかりです。

皆さんと過ごした2年間は、先生にとって大きな宝物となりました。いろいろなエピソードが今でも昨日のことのように思い出されます。

皆さんは、今年は20歳という節目の年を迎え、大人への第一歩を踏み出されました。これからもたくさんのこと挑戦し、多くの出会いを大切にしてください。

皆さんのこれからのご活躍を心よりお祈りします。また、再開できる日を楽しみにしています。本日は、本当におめでとうございます。

延岡市立南中学校 佐藤 弘樹

～以下、エピソード～

皆さんとは、2年間同じ学年で、楽しく充実した学校生活を送ることができました。

平成30年度1年1組の担任、男子卓球部の顧問をしていました。1組の教室は、南校舎2階のいちばん端の教室で、廊下の窓からグラウンド一望できるすばらしい環境でした。初めての体育大会。みんな一生懸命に走り、汗を流し、応援を頑張りましたね。文化祭の合唱曲は「涙をこえて」。賞は獲れなかったけど、みんなで協力して合唱を頑張りました。男子卓球部も秋の県大会で団体準優勝のすばらしい成績を収めました。

みなさんが2年生になるとき、時代は「平成」から「令和」に変わりました。平成31年度でスタートした2年4組。途中から令和元年度へと改められるなど、いろいろと変化のある1年でした。この年は男女卓球部の副顧問として部活動に携わりました。2年4組は、元気な生徒が多く、毎日何かしら事件が起きていたことを思い出します。中学2度目の体育大会。学年を動かすリーダーも育ち、先輩としての姿を1年生に見せてくれました。なかには、生徒会役員の一員として活躍する姿を見てくれた生徒も生まれ、成長を感じました。文化祭の合唱曲は「HEIWAの鐘」。なかなか声が出ないことが続きましたが、ある日の放課後に、副担任だった椎葉悟子（しいば さとこ）先生の前で熱唱し、椎葉先生が感動したことを今でも覚えています。修学旅行では、2年4組のみんなで楽しい時間を過ごすことができました。年末には、新型コロナウイルスの発生により、臨時休校やマスクの着用義務があたりまえの時代になり、みんながとても窮屈な思いをしました。残念だったのは、2月末に学校が休校となり、2年4組で1年間を終えることができなかったことが心残りでした。

3年生では学年を離れましたが、みなさんが様々な場面でご活躍されていることを聞くことがあります、その度に嬉しさがこみ上げてきます。

また、いつの日か、ゆっくり語り合える日を待ちにしています。